

子どもの笑顔のために始めたら、自分の世界も広がった

PTA本部役員 「やってよかった!」 & 「私たちの本音」

~PTA役員経験者が語る、PTA本部のリアルな体験記~

「PTA本部って大変そう...」そんなイメージをお持ちではありませんか？
たしかに忙しい時期もありますが、それ以上に「やってよかった!」と思える瞬間がたくさんあります。まずは、経験者が感じたポジティブな本音をご紹介します。

やってみて本当に良かった! 私たちの「特等席」

行事での感動を最前列で

運動発表会や卒業式など、子どもたちの勇姿を一番近くで見守ることができました。
あの大迫力と感動は、本部役員ならではの役得です! 写真撮影のポジションなども、裏方として動いているからこそそのメリットがありました。

子どもとの絆が深まった

学校の話が増え、子どもと一緒に過ごす時間や会話が自然と豊かになりました。
親が学校に関わる姿を見ることで子どもも喜んでいきます。「お母さん（お父さん）、今日も学校来てたね!」と嬉しそうに話しかけてくれるのは、何よりのやりがいです。

一生モノの仲間と学び

先生方や他の保護者との繋がりができ、ここでしか得られない気づきや学びがたくさんありました。
気づけば、自分自身の成長にも繋がっています。悩み相談ができる地元の心強い仲間ができたことは、卒業後も続く財産になります。

正直に言います! 大変だったこと&私たちの改善案

もちろん、良いことばかりではなく「ここは変えたい!」と思うような大変な部分もありました。現在のPTA本部では、次の方々をもっと参加しやすくなるように、古いやり方を見直して業務改善を強力に進めています。

課題と改善案①：業務の不透明さ

現状の課題：仕事の割り振りや相談先が分かりにくい

他の役員の担当範囲が把握できず、「誰に何を頼めばいいのか」迷うことがありました。結果として、一部の人に負担が偏ってしまうことも。

▼ 改善策 ▼

私たちの改善策：「マニュアル化」と「業務の見える化」

次期に向けて、各役割のマニュアル化や業務の見える化を進めています。誰でもすぐに相談できる体制を整え、一人に負担が集中しないようにします!

課題と改善案②：タイムマネジメントと参加方法

現状の課題：時間の捻出と物理的な制約

出張が多い、平日は時間が取れないなど、時間の捻出に苦労することもありました。特に仕事と家庭の両立で忙しい方にとっては大きな負担でした。

また、「急な出張が入ってしまった」「夜の会議に参加したいけれど、小さな子どもを家に置いていけない」といった切実な悩みも多く寄せられていました。

▼ 改善策 ▼

私たちの改善策：オンラインツールのフル活用とリモート参加

対面主義をなくし、LINE WORKSや今年度導入したKintoneなどのオンラインツールをフル活用。会議はオンライン参加（Zoom等）を標準オプションとして導入しました。

これにより、出張先のホテルからでも、お子様を寝かしつけた後のご自宅からでも、無理なく会議に参加することが可能になりました。

隙間時間で連絡や情報共有を行い、それぞれのライフスタイルに合わせた「チームプレー」を大切にしています。

よくあるご質問 (Q&A)

役員を検討されている皆様からよくいただく疑問にお答えします。

Q. フルタイム勤務ですが、役員を務めることは可能ですか？

A. はい、可能です！現在の役員にもフルタイム勤務者が複数います。先述の通り、対面での集まりを最小限にし、オンライン会議やチャットツール（LINE WORKS等）での連絡をメインにしているため、通勤電車の中やお昼休みなどの「隙間時間」を活用して無理なく参加いただけます。

Q. パソコンやITツールが苦手なのですが、大丈夫でしょうか？

A. 心配いりません。導入しているKintoneなどのシステムは直感的に使えるよう工夫しており、引継ぎ資料も完備しています。わからないことは気軽にチャットで質問できる雰囲気なので、活動を通じて自然とスキルアップしたという役員も多いです。

Q. 未就学児のきょうだいがいますが、活動に参加できますか？

A. もちろんです。オンライン会議であれば、ご自宅でお子様の様子を見ながら参加できます。

未来の役員さんへメッセージ

「子どものために」という一歩が、結果として自分自身の充実感に繋がりました。
大変なこともあります。それをみんなで改善していくプロセスもまた、本部の面白さです。

役員一同

「やってよかった、本部役員！」

あなたも一緒に、新しいPTAの形を作ってみませんか？